

### 「停電」

○今、台風24号が接近中で、子どもたちが楽しみにしている明日の運動会が無事にできるかハラハラしているところです。今年の台風は本当に多くの被害をもたらし、私たちの生活にも多大な影響を与えました。台風21号の折には異例の予告休校を行いました。本校の子どもたちの家庭では、浸水や倒壊といった大きな被害や人的な被害はなかったのは幸いでした。

○しかし、電線が風力で切断され、停電になった家庭が多くありました。「電気」というライフラインがこんなにも私たちの生活の重要な役割を担っているのだということを改めて思い知らされました。



○オール電化の家庭(我が家もそうですが幸い停電は免れました)は、電灯、エアコンはもちろん、お湯をわかすことすらできず、近所や友達、親戚の通電している家のお風呂を貸してもらったと聞きました。狭い我が家にも、停電で避難してきた息子家族や弟家族が10人近く入浴し、ついでに泊まっていきました・・・。



○マンションなどでは断水もあったそうです。水道管は無事であってもです。これは、ほとんどの学校もそうですが、高層の建物では、水道水をいったん受水槽という一階や地下に設置されたタンクに溜めて、加圧ポンプを電気回して屋上の高置水槽に溜めて、重力で各階に供給する方式です。普段は高置水槽の水が一定の水位を下回るとポンプが水をあげるのだそうです。

○「断水＝飲み水がない」だけでなく、「断水＝トイレも流せない」となります。

○マンションでなくても、タンクレストイレを設置している家は電気がないと流せずに困ったということを知りました。よくよく調べてみると停電の場合、手動で流す方法はあったので後に解決したそうですが・・・。

○「検索して調べる」のに便利なスマホなども、充電ができず困ったとの声も多く聞きました。リチウムバッテリー式充電器ならそれ自体充電しなければいけないため、乾電池式充電器が役立ったとか教えてもらいました。乾電池は懐中電灯にも使うので、当時はかなり品薄だったと聞きました。

○そういえば、学校から今後の授業連絡等で固定電話にかけても、昔の黒電話と違い停電では不通でした。また「ぐるりんメール」を流しても開封されなかったり、保護者の携帯電話にかけてもつながらなかったり。のちほど聞くと、大切なライフラインなので必要以外携帯・スマホの電源を切ってあったという家庭もありました。

○一方、子どもたちからは、停電だからこそすてきな話も聞きました。

○それは、電気が来ないから、家族がみんなリビングに集まって話をしたり、ゲームができないから懐中電灯の薄明りの中みんなでトランプをしたりできて楽しかったとのこと。

○また、通電している近所のお風呂に入らせてもらったり、充電させてもらったりしたついでに、クーラーにあたらせてもらいながらおしゃべりをしたりするのが楽しかったとのこと。

○「アウトメディア」をはじめ、「相互扶助」の体験。停電のおかげでその体験を味わえたことが、今後の子どもたちの生活にプラスとなって作用すればと思います。

〈学校長〉

★貴志南小学校では、ホームページを設けています。<http://www.wakayama-wky.ed.jp/kishiminami/>

※写真等は児童個人を特定できないように配慮しています。